

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●柴田善臣騎手がJRA通算2万2000回騎乗を達成

2月4日(日)の1回東京4日・第12レースでニットウバジルに騎乗した柴田善臣騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上3人目・現役3人目となるJRA通算2万2000回騎乗を達成しました。

●梅田智之調教師がJRA通算300勝を達成

2月3日(土)の1回小倉7日・第9レースとして行われたかささぎ賞ではペアポルックスが1着となり、同馬を管理する梅田智之調教師(栗東)は、現役70人目となるJRA通算300勝(延べ4520頭目)を達成しました。

●新規騎手免許試験に8名合格

2024年(令和6年)度の新規騎手免許試験合格者が発表されました。JRA競馬学校騎手課程を卒業する石神深道(美浦・和田正一郎厩舎)、大江原比呂(美浦・武市康男厩舎)、柴田裕一郎(栗東・中竹和也厩舎)、高杉吏麒(栗東・藤岡健一厩舎)、長濱鴻緒(美浦・根本康広厩舎)、橋木太希(栗東・西園正都厩舎)、吉村誠之助(栗東・清水久詞厩舎)と、調教助手から転身する坂口智康(美浦・尾形和幸厩舎)の計8名で、3月2日(土)以降、JRAの騎手としてデビューすることになります。

●ジェラルディーナ、ダノンザキッドらの競走馬登録抹消

2022年エリザベス女王杯(GI)などの勝ち馬ジェラルディーナ(牝5歳/栗東・齊藤崇史厩舎/JRA通算21戦6勝・海外2戦0勝)、2020年ホープフルS(GI)などの勝ち馬ダノンザキッド(牡5歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算16戦3勝・海外3戦0勝)、2021年京都ジャンプS(J・GⅢ)の勝ち馬ケンホファヴァルト(牡10歳/栗東・森秀行厩舎/JRA通算67戦6勝)、2022年福島記念(GⅢ)などの勝ち馬ユニコーンライオン(牡7歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算31戦6勝・海外1戦0勝)は、2023年12月23日(土)までに競走馬登録を抹消されました(年齢はすべて抹消時)。ジェラルディーナは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬、ダノンザキッドは北海道新冠町のビッグレッドファーム明和で種牡馬、ユニコーンライオンは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となる予定。ケンホファヴァルトは地方・岩手競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●アーテルアストリアがクイーン賞(船橋)で2度目の重賞制覇

クイーン賞(JpnⅢ、2月7日、船橋、1800^円)は、6番手から差を詰めた2番人気のアーテルアストリア(菱田裕二騎手、牝5歳、父リーチザクラウン)が、途中から逃げた3番人気のテリオスベルを残り50^円で差し切り、レディスプレリユードに次ぐ重賞2勝目を挙げました。1番人気に推された前回の優勝馬ライオットガールは4着、初ダートのゴールデンハインドは9着に敗れています。

●飛燕賞(佐賀)でトゥールリーが重賞3勝目【各地の主要3歳重賞】

飛燕賞(2月4日、佐賀、1400^円)は、3番手から3コーナー過ぎに先頭に立ったトゥールリー(牡、父ダノンレジェンド)が後続を半馬身振り切り、単勝1.2倍の支持に応えました。

●ノットゥルノらが参戦、2月12日の佐賀記念(佐賀)

佐賀記念(JpnⅢ、2月12日、佐賀、2000^円)は、59^{kg}が鍵も実績上位のノットゥルノが中心、牝馬グランブリッジが続き、昨年の覇者ケイアイパープル、メイショウフンジン、アラジンパローズ(兵庫)、キリンジまでが争覇圏内と考えられます。

●2月14日の雲取賞(大井)はイーグルノワールが有力

今年から新たにダートグレード競走となった雲取賞(JpnⅢ、3歳、2月14日、大井、1800^円)は、JpnⅡ1着、JpnⅠ2着のイーグルノワールが最有力、以下カトレアS優勝馬アマンテビアンコ、ブルーサン、サントノーレ(大井)、ウルトラノホシ(佐賀)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G3ホーリーブルS~2歳王者フィアースネスは3着

現地2月3日に米国フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で行われたG3ホーリーブルS(3歳、ダート1700^円)は、P.ロベス騎手を背にしたヘイディーズ(騾3歳、父オーサムスルー、J.オルセノ厩舎)がスタートを決めて逃げの手に出ると、一旦はかわされた昨年のG1ブリーダーズCジュベナイルの勝ち馬で、米最優秀2歳牡馬にも輝いたフィアースネスを直線で差し返して優勝しました(フィアースネスは最後に脚が上がって3着)。ヘイディーズはフロリダ州産馬。昨年12月のデビュー戦(ダート1100^円)と条件戦(ダート1400^円)を連勝しており、これで3戦3勝としました。

●香港クラシックマイル~人気のヘリオスエクスプレスが制す

2月4日に香港のシャティン競馬場で行われた香港クラシックマイル(L、芝1600^円)はH.ボウマン騎手が手綱を取ったヘリオスエクスプレス(騾4歳、父トロナド、J.サイズ厩舎)が3番手追走から直線で抜け出して優勝しました。香港クラシックマイルは香港調教の4歳馬により全3戦で争われる香港4歳クラシックシリーズの初戦。この後、3月3日の香港クラシックC(L、芝1800^円)、3月24日の香港ダービー(L、芝2000^円)と続きます。